

本表の略記法について

リソースに出現する CodeableConcept 型の要素は以下のような構造をとる。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
n	要素名				0..1	CodeableConcept		文書カテゴリ
n.1		coding			0..*	Coding		表現したいコンセプトのコード記述。 繰り返しにより複数のコード体系によるコーディングで記述できる。
n.1.1			system		1..1	uri	“http:.....”	コード体系。
n.1.2			code		1..1	code	“B0EF”	コード。
n.1.3			display		0..1	string	“持続腹痛”	コード体系におけるコードに対応するの表示名
n.2		text			0..1	string	“長く続く腹部の痛み”	表現したいコンセプトのテキスト記述

しかし、表を見やすくするため、この文書では、これを次のように 1 行で省略表記する。値の欄は、4 つの行(子要素)に使う値を列挙するが、省略することもある。多重度の記載は、1 段目に CodeableConcept 型の要素自体の多重度、2 段目にその子要素 coding の多重度(上表 n.1 の多重度)を転記している。

n	要素名				0..1 0..*	CodeableConcept	“http:.....” “00” “持続腹痛” “長く続く腹部の痛み”	説明
---	-----	--	--	--	--------------	-----------------	---	----

なお、coding の多重度の最小値が 0 (すなわち省略可能) の場合には、コードによる記述をせず、以下のようにテキストだけで記述することも許されている。

表 Device リソース 医療機器情報

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
1	resourceType						“Device”	Device リソースであることを示す
2	text				0..1	Narrative		本リソースをテキストで表現したものを入れてもよい。
2.1		status			1..1	code	“generated”	固定値。テキスト内容の全てがリソースのコンテンツから生成されたことを示す。
2.2		div			1..1	xhtml	<div xmlns=“http://www.w3.org/1999/xhtml”>xxx</div>	値は例示。
3	identifier				0..1	Identifier		この機器情報に付番された ID

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
3.1		system			1..1		"urn:oid:..."	付番方法については「識別子名前空間一覧」を参照。値は例示。
3.2		value			1..1		"2020-10-002933"	機器情報 ID の文字列。値は例示。
	udiCarrier				0..*	BacboneElement		Unique Device Identifier(UDI)のバーコード文字列情報。
		deviceIdentifier			0..1	string		UDI の必須固定部分の文字列。
		issuer			0..1	uri		UDI 発行組織。
		jurisdiction			0..1	uri		地域(国)UDI 管理組織
		carrierAIDC			0..1	base64Binary		UDI Machine Readable Barcode String
		carrierHRF			0..1	string		UDI Machine Readable Barcode String
		entryType			0..1	code		UDI エントリータイプ barcode:Barcode rfid:RFID manual:Manual card:Card self-reported:Self Reported unknown:Unknown
3	status				1..1	code	"final"	検査・観察のステータス。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
								コード表: “http://hl7.org/fhir/device-status” active inactive entered-in-error unknown 使用許可中、使用許可終了、エラー、不明
	statusReason				0..1	CodeableConcept	” http://terminology.hl7.org/CodeSystem/device-status-reason” ”online” ”接続中”	使用ステータスの事由。 online paused standby offline not-ready transduc-discon hw-discon off オンライン 一時停止 スタンバイ オフライン 準備中 トランスデューサー-接続断 機器-接続断 オフ
	distinctIdentifier				0..1	string		個別識別 ID。
	manufacturer				0..1	string		製造会社名。
	manufactureDate				0..1	dateTime		製造年月日。
	expirationDate				0..1	dateTime		使用期限年月日。
	lotNumber				0..1	string		製造ロット番号。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	serialNumber				0..1	string		製造会社により付番されたシリアル番号。
	deviceName				0..*	BackboneElement		製造会社により付けられた機器名情報。
		name			1..1	string		機器名称。
		type			1..1	code		機器名称タイプ。 udi-label-name user-friendly-name patient-reported-name manufacturer-name model-name other udi-label-name ユーザーフレンドリー名 患者報告名 メーカー名 モデル名 その他
	modelName				0..1	string		製品モデル番号。
	partNumber				0..1	string		パーツ番号。
	type				0..1	CodeableConcept		医療機器のタイプ。 一般的な機器種類名”ペースメーカー”などのレベルで、当面、テキストだけで記述する。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重 度	型	値	説明
	specializa tion				0..*	BackboneElement		デバイスでサポートされている機能、デバイスが特定の目的に準拠し、通信に使用される標準。 未使用。
	version				0..*	BackboneElement		デバイスの実際の設計またはデバイスで実行されているソフトウェアバージョン情報。
		type			0..1	CodeableConcept		ソフトウェアなどのタイプ。 当面、テキスト情報のみで記述する。
		compone nt			0..1	Identifier		バージョンの単一部分。
		value			1..1	string		バージョンのテキスト記述。
	patient				0..1	Reference(Patient)		装着・使用している患者情報への参照。
	owner				0..1	Reference(Organiza tion)		使用管理に責任をもつ医療機関・機関情報への参照。
	contact				0..1	ContactPoint		連絡先の情報
		system			1..1	code	“phone”	固定値。
		value			1..1	string	“0123-456-7890”	値は例示。
	uri				0..1	uri		医療機器情報へのアクセス情報

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	note				0..*			医療機器に関する注意情報やコメントテキスト記述
		text			1..1	markdown		追加的な情報の内容。markdown形式のテキストが使用できる。データとして 1M バイト以内であること。
	safety				0..*	CodeableConcept		医療機器の安全性に関する区分情報。 当面未使用。
	parent				0..1	Reference(Device)		親の医療機器がある場合にその情報への参照。